



# つくばみらい市

## 議会だより

### 第18号

平成22年11月18日

発行



平成22年第3回定例会及び  
第2回臨時会を開催しました。

『テレビドラマのロケ撮影風景（福岡堰 桜並木）』

#### 主な内容

◎平成22年第3回定例会（9月）  
◎平成22年第3回定例会は、9月2日から17日までの16日間の会期で開催しました。

◎第3回定例会では、平成21年度決算認定9件、補正予算7件など計24件（請願2件含む）の議案が提出されました。各議案について、決算特別委員会及び常任委員会に付託され、慎重な審議を行いました。

◎平成22年第2回臨時会  
◎平成22年第2回臨時会は、10月13日に開催しました。

議案の概要	も	P 2
一般質問	く	P 4
	じ	

発行：つくばみらい市議会／編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤 237 番地 TEL 0297-58-2111（代表） FAX 0297-20-5760  
URL <http://www.city.tsukubamirai.lg.jp> Eメール [gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp](mailto:gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp)



会期・日程

●9月 定例会 ●  
2日(木) 本会議

開会  
会期の決定

議案の上程及び説明  
監査委員報告

3日(金) 本会議

一般質問

6日(月) 本会議

一般質問

議案に対する質疑  
議案の委員会付託

決算特別委員会設置及び正副委員長の互選

7日(火) 常任委員会

総務常任委員会

教育民生常任委員会

8日(水) 常任委員会

経済常任委員会

10日(金) 特別委員会

決算特別委員会

13日(月) 特別委員会

決算特別委員会

14日(火) 特別委員会

決算特別委員会

17日(金) 本会議

委員長報告、質疑、討論、採決

閉会中の継続審査・調査

閉会

●10月 臨時会 ●

13日(水) 本会議

議案の上程及び説明、質疑、討論、採決

平成 22 年 (9 月) 第 3 回定例会 議決一覧表

議案番号	議案名	議案の概要	結果
報告第5号	専決処分の報告について(第3号)	業務過失及び道路管理瑕疵による車両物損事故の損害賠償の額を定めること、自動車運転業務過失による損害賠償の額を定めること、及び車両事故による和解について報告するものです。	報 告
報告第6号	継続費精算報告書について(一般会計)	平成21年度に終了した一般会計継続費の精算について報告するものです。	
報告第7号	継続費精算報告書について(水道事業会計)	平成21年度に終了した水道事業会計継続費の精算について報告するものです。	
報告第8号	健全化判断比率等の報告について	健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見をつけて報告するものです。	
議案第48号	市道路線の認定について	都市軸道路の整備に伴い、今までの市道が分断されたため、分断後の市道をそれぞれ管理するものです。	原 案 可 決
議案第49号	市道路線の廃止について	都市軸道路の整備に伴い、今までの市道が分断されたため、11路線を廃止するものです。	
議案第50号	平成22年度つくばみらい市一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ4億7千155万4千円を追加し、予算の総額を155億9千262万1千円とするものです。	
議案第51号	平成22年度つくばみらい市老人保健特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ731万9千円を追加し、予算の総額を804万3千円とするものです。	
議案第52号	平成22年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ4千323万9千円を追加し、予算の総額を21億9千516万8千円とするものです。	
議案第53号	平成22年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ800万円を追加し、予算の総額を10億3千769万円とするものです。	
議案第54号	平成22年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ4千270万円を追加し、予算の総額を6億5千638万9千円とするものです。	
議案第55号	平成22年度つくばみらい市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出で、支出を93万4千円追加し、10億2千521万6千円とするものです。	
議案第56号	平成22年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ1千393万5千円を追加し、予算の総額を45億1千110万9千円とするものです。	



議案番号	議案名	議案の概要	結果
認定第1号	平成21年度つくばみらい市一般会計決算認定について	・歳入決算額…153億1千18万9千361円 ・歳出決算額…144億9千346万1千334円 ・差引額…8億1千672万8千27円 ・差引内訳 繰越明許…2億511万8千円 翌年度繰越…6億1千161万27円	原案認定
認定第2号	平成21年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算認定について	・歳入決算額…46億5千6万29円 ・歳出決算額…44億3千554万6千427円 ・差引額…2億1千451万3千602円(翌年度繰越)	
認定第3号	平成21年度つくばみらい市老人保健特別会計決算認定について	・歳入決算額…8千315万6千462円 ・歳出決算額…6千531万3千595円 ・差引額…1千784万2千867円(翌年度繰越)	
認定第4号	平成21年度つくばみらい市介護保険特別会計決算認定について	・歳入決算額…21億3千445万3千167円 ・歳出決算額…20億6千866万4千715円 ・差引額…6千578万8千452円(翌年度繰越)	
認定第5号	平成21年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計決算認定について	・歳入決算額…14億3千154万5千201円 ・歳出決算額…13億4千万2千354円 ・差引額…9千154万2千847円(翌年度繰越)	
認定第6号	平成21年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計決算認定について	・歳入決算額…3億2千433万2千621円 ・歳出決算額…2億9千798万8千995円 ・差引額…2千634万3千626円(翌年度繰越)	
認定第7号	平成21年度つくばみらい市市営分譲住宅特別会計決算認定について	・歳入決算額…5千123万1千756円 ・歳出決算額…4千874万3千113円 ・差引額…248万8千643円(翌年度繰越)	
認定第8号	平成21年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計決算認定について	・歳入決算額…2億5千943万7千343円 ・歳出決算額…2億5千879万1千561円 ・差引額…64万5千782円(翌年度繰越)	
認定第9号	平成21年度つくばみらい市水道事業会計決算認定について	・収益的収入…10億2千590万658円 ・収益的支出…9億5千310万7千3円 ・資本的収入…3億296万6千円 ・資本的支出…4億2千932万20円	

番号	請願・陳情名	結果
請願第1号	子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を求める請願	継続審査
請願第2号	家族従業者の人権保障のため「所得税法56条の廃止をもとめる意見書」採択についての請願書	
陳情第9号	安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書	全議員及び執行部に配布しました

平成22年 第2回臨時会 議決一覧表

議案番号	議案名	議案の概要	結果
報告第9号	専決処分の報告について(第4号)	市道の除草作業中に発生したフェンス破損事故及び、道路管理瑕疵による車両物損事故の損害賠償の額を定めたことについて報告するものです。	報告
議案第57号	工事請負契約の締結について	板橋小学校校舎耐震補強・大規模改修及び太陽光発電施設設置工事請負契約を締結するに当たり、地方自治法の規定により提案するものです。	原案可決
議案第58号	平成22年度つくばみらい市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ6千700万円を追加し、予算の総額を156億5千962万1千円とするものです。	



# 聴き きたい 知り たい 市政 一般 質問 (要旨)

定例市議会における  
一般質問の要旨を掲載します。

一般質問の質問要旨については、  
議員本人の要約によるものです。

## 下水道事業 未整備地域の推進

海老原 弘 議員

●海老原議員 下水道事業未整備地域の推進について質問したい。取手地方広域下水道組合が行う範囲であると思うが、上宿、中宿、横町までを含めての豊地区や、三島地区の下島や伊丹、谷井田地区の外記新田や南2区、東地区全体については、具体的な整備年次を聞

かない。また、三島地区の山王新田や神住新田は、いつ頃を目途に事業認可をされるのか。更に、板橋地区については、かなり広範囲にわたって残っている。市としての基本計画を確立して、市民に明確に知らせるべきだと思うが、基本的な考えをご答弁願いたい。

●市長 取手地方広域下水道組合による未整備地域の推進については、既に事業認可を受けて整備を行っている区域の進捗率も高くなっている状況であることから、同組合と整備計画について協議を行い、今年度、新たに山王新田東処理分区及び西処理分区の区域約28haを、事業認可の拡大を図ることで協議が整い、県下水道課と協議



取手地方広域下水道組合「福田汚水中継ポンプ場」(福田)

を行っているところである。なお、全体計画区域内の未認可区域については、同組合と調整を図りながら、認可区域内の計画的、より効率的な整備をお願いして、順次認可区域の拡大を図り、整備促進を進めて参りたい。

●都市建設部長 全体計画の未整備地区については、取手地方広域下水道組合に現在の認可区域の

## 保育所、幼稚園の民間委託について

中山 栄一 議員

●中山議員 子育て支援や働くお母さんを応援する方針から、公立保育所・幼稚園の現状には大きな課題があり、その一つが職員配置の問題である。全職員数に対して非正規職員数の比率が高く、職員全体の約7割を占めている。財政難に伴う人件費削減のしわ寄せがこのような分野に偏ってしまっている傾向があり、子供達を預かる責任の重い立場で働く職員の精神的、体力的疲労を考えると、非正規職員の待遇改善が急務である。行財政改革に伴い、施設の公立運営が厳しい状況であれば、民間委託も視野に、受け入れ態勢の充実を図る必要がある。今後、東部丘陵部地区の幼児数の増加や、新しくスタートする幼保一体化施設の開園などを好期と捉え、議論を深めることが大切ではないだろうか。

●教育長 幼稚園の現状については、公立幼稚園が3園で、合計22クラス、職員は50人で、その内、

整備の完了を早急にお願  
いし、順次、認可区域の  
拡大を図って整備を進め  
たい。なお、今後につい  
ては、大変厳しい財政状  
況を踏まえて計画的な推  
進を図り、更に、事業認  
可等の進め方については、  
同組合と十分な協議をし  
ながら、市の計画に合っ  
た進め方で推進して参り  
たい。

☆ (掲載以外の質問事項)  
身体障害者の病院移  
送について



非正規職員は29人である。合併後、行財政改革を進める意味から、退職した教諭の埋め合わせを全員非正規で賄ってきたが、クラス担任を募集しても応募がなく、教諭の確保が難しい。解決策には民間委託も必要であると考えているが、委託の方法も色々あり、申し出があつた場合に相談していきたいと思っている。

●**総務部長** 行政としては、保護者の皆様が安心して子供を預けられる体制の整備を行うことは、当然の使命である。保育所、幼稚園については、急場の措置として、少なくとも最低限度クラス担任を確保するために、退職職員の補充措置を行い、中長期的には民間委託の検討を進めて参りたい。

●**市長** 私は今まで民間会社をずっと経営してきたが、役所に入り、臨時職員を雇用していることに対して、役所も随分行政改革をしてきているんだなという実感を持った。私の認識としては、委託

する方向であるが、しっかりと市がチェックできる仕組みを作ってから委託したいと考えている。

☆ (掲載以外の質問事項) 行政評価制度について

## 再度「官製ワーキングプア」の解消を

川上 文子 議員

●**川上議員** 今年の3月1日現在、つくばみらい市に働く職員のうち、正規職員が335人、嘱託職員・臨時職員が259人で、非正規の雇用が43%と、非正規率が県内で3番目に高い自治体と

なっている。非正規職員は、フルタイムで働いても所得は年間150万円から200万円と低額で、しかも嘱託職員は5年、臨時職員は1年という任用期間が定められており、雇用が不安定という点でも問題は深刻である。官製ワーキングプアの解消が市全体に求められているが、特に緊急に対応が必要なのが、保育士、教諭の待遇である。資格を有しながら保育士の55%、幼稚園教諭の59%が非正規の雇用。極めて専門性の高い職場で、責任を持って子供の保育に当たるには大変厳しい労働条件であり、緊急に改善することを求めるがどうか。

●**市長** 幼稚園及び保育所に勤務する非常勤職員については、専門性も高く、幼児教育の観点から見ても、私は重要な職員であると考えている。また、これからの非常勤職員の人材確保が厳しい状況の中、賃金アップも必要ではないかとの思いがあり、現在、来年4月か

らの賃金改正に向け、近隣市町村を調査している段階である。ただ、市の財政状況も厳しいことから、今後、慎重に検討し、適切な賃金設定を行いたいと考えている。

☆ (掲載以外の質問事項)

☆ 雇用確保と雇用創出について

☆ 「地域おこし」について

## 保育施設の拡充を

古川 よし枝 議員

●**古川議員** 当市の公立の8つの保育所では、

8月時点(私立は7月時点)で628人が入所している。18人が定員をオーバーし、待機児童は11名。待機児のほとんどは1、2歳児で、やむなく認可外の施設に入所したり、窓口で断られてあきらめている方などを含めると待機児はもっといるはずである。市の次世代育成支援行動計画では、平成26年度の事業目標を695人としているが、入所率を30%として推定すると、大幅に増え、現在の施設規模では不足になり、増設が必要になるのではないか。今後、市はこのよ



(私立)認定こども園みらい平ふたばランド幼稚園・保育園紫峰ヶ丘



うな状況にどう対応していくのか。また、待機児も預かっている小絹の認可外保育所を認可し、定員の確保をしようか。

的な展望で各施設の状況を確認しながら民間委託を検討して参りたい。

●市長 施設の増設については、現在、幼保一体型の整備を進めている谷和原第2保育所の定員を、これまでより20名増加し、平成23年度中の開園を予定している。また、みらい平地区については、民間活力の導入実現に向け検討して参りたい。なお、認可外保育所の認可については、経営者の考えがあると推察するが、認可に当たっての条件を満たす必要があることから、市としては適切なアドバイスを行うなど、側面的な支援を行いたいと考えている。

☆ 掲載以外の質問事項  
交通弱者への移送サービスの拡充を

●保健福祉部長 待機児童については、特に1、2歳児の低年齢児が多く、入所に当たっては、お預かりするスペースや受入の人的要因など、難しい状況である。また、定員を超えての入所については、国の児童福祉施設基準に沿って行っているものである。なお、今後の対応としては、長期

## 優良企業の誘致について

神立 精之 議員

●神立議員

本市は今後、常総広域のごみ処理施設問題、火葬場の迷惑施設、みらい平の中学校建設と莫大な資金を要する。このまま何の対策もとらなければ、市の財政はパンクする状態であ

●市長

当市も、産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例を既に制定し、企業誘致及び雇用促進に大いに効果があったものと推測される。但し、この条例

る。その上、低迷する経済で税収が一段と低下する中、市は財政運営上、財源の確立に力を注いで税収を増やすことが大きな課題である。本市は、首都圏40kmに位置し、物を運ぶ道路が着々と整備され、人を運ぶTXが順調に運行されて企業誘致には最適地になつてい

は、今年度で失効する時限立法であることから、つくばみらい市ならではのオリジナル的な条例案を作成し、議会の承認を受けたいと思っている。なお、企業誘致には、しっかりとした面整備が不可欠であると考えている。

## つくばみらい市の街づくりと活性化について

堤 實 議員

●堤議員

国道294号小絹東交差点付近の渋滞緩和策は、どのように考えているのか。立体交差の計画等、市長の見解を頂きたい。将来、みらい

●市長

小絹東交差点付近の渋滞緩和策については、県において用地測量及び設計等が完了している旨、確認したところである。市としても早期の全線整備完了を強く働きかけて参りたい。次に、

平地区への学校建設計画があるが、具体化されていない。市内の小学校では、来春の入学者は4、5名の学校が4校で、今後、少子化が進む中、地域発展のためにも早急に結論を出す必要がある。これまでの検討結果、経緯について説明願いたい。みらい平駅近辺を商業地域に変更して欲しい。県内のTX沿線駅付近では、みらい平駅以外は全て商業地域に変更されている。駅付近の活性化、賑わいのある街づくりのためにも進めて頂きたい。最後に、合併特別債事業の完全実施はかなり難しいが、東楢戸台線は完成したい。プロジェクトチームを編成してはどうか。具体的な答弁をお願したい。



少子化による小中学校の統廃合の問題については、今後更に市民の皆さんの意見を参考にしながら、適正規模・適正配置とみらい平地区の開発を総合的に判断し、学校のあるべき姿を検討したいと考えている。また、小中一貫教育を早急に取り入れるため、各担当者は、その調査、勉強会をするよう指示したところである。続いて、みらい平駅周辺の用途地域を近隣商業地域から商業地域に変更することについては、みらい平地区は、田園都市にふさわしいまちづくりに向けて、健全な市街地を育んでいくことや地区周辺への影響等を配慮して、用途を近隣商業地域としたものであるが、これまでの経過を含めて、他の状況等を見ながら今後検討して参りたい。最後に、合併特例債事業の完全実施のための議員提案のプロジェクトチームの編成については、今後、事業の状況等を勘案しながら検討した



都市基盤の整備が進むみらい平地区

いと考えている。

●**教育長** 少子化による学校の統廃合問題については、市の義務教育施設適正配置審議会の話し合いの中で、地域の考えを聞くべきとの意見により、7月に職員が各学校に向き、適正規模についての理解を得るため保護者への説明会を行った。そして、保護者の意見を聞くため教育環境に関する意識調査を実施し、現在、集計している段階である。なお、審議会委員の皆さんには、答申は23年6月頃に出して頂きたいとお願いしており、それを受け具体的に進めて行かなければと考えている。

## うつ病と児童虐待の市の実態について

坂 洋 議員

●**坂議員** 国民病とも言われているうつ病と深刻な児童虐待がますます増加している現状は、今までの福祉政策では対応しきれなくなっている。従来の社会保障の拡充と共に、現実的な課題に対応するための更なる政策が求められている。そこで、うつ病の患者数と引きこもりの実態を、つくばみらい市としてどのように認識し、今後どのように取り組みを進めていこうとしているのか。更に、児童虐待に対しては、市に寄せられる虐待の相談件数、種別、虐待者についての分

析はされているのか。重ねて、子供の安全を確保するための具体的な対応について伺いたい。

●**保健福祉部長** うつ病の有病者数を把握することは難しく、市内全体の確認は出来ないが、自立支援医療制度の利用者のうち気分障害の方は119人、精神相談管理記録ではうつ病の相談者は72人である。この病気は、誰でもかかる可能性があるが、適切な治療の継続で治癒が可能であると認識している。取り組みについては、精神保健福祉士、保健師を配置し、他の機関と連携して相談、訪問を実施している。今後も、必要に応じ医療機関を受診でき、相談された方にとって真の支援となるよう努めて参りたい。次に、児童虐待の人数は21人で、内訳は、身体的虐待6人、ネグレクト(育児放棄)15人で、虐待者としては主に母親で、その多くの虐待者は、精神状態が不安定で、自分自身もコントロールできずに悩んでいる方がほとんどである。市では、虐待の傾向が

はつきりわかるものについては、児童相談所を通して早急に施設へ保護し、即座に判断しかねる場合は、関係機関との連携により児童の経過観察を行い、緊急事態には保護者等の措置を取るなど、子供達を断じて虐待から守るといふ強い決意を持って対応して参りたい。

●**市長** うつ病、児童虐待、自殺等の問題は、地域社会全体で取り組むべき課題であると認識している。市民の皆さんの協力、県、警察、学校、色々な角度から取り組んでいかなないとなかなか解決できない大きな問題であり、引き続き関係機関と連携を密にしながら、この問題に取り組んでいきたいと思っている。

(掲載以外の質問事項)

☆ 市の公共施設の自動販売機の設置を公募制に

☆ CO<sub>2</sub>削減、地球温暖化防止の為、街路灯にLED蛍光灯の交換を



## ブックスタート事業について

染谷 礼子 議員

● **染谷議員** ブックスタート事業は、18年前にイギリスでスタートした。読み聞かせを通し、親子の絆を深めることと、小さい時から本と出合うことで思考力、表現力を高める効果があるとされている。日本でスタートしてからは、今年で10年目となる。現在、734の自治体で実施をしており、全ての赤ちゃんに本をプレゼントする取り組みは、すっかり全国的にも根付いた事業となっている。実施状況は自治体によって異なるが、多くは4ヶ

月健診時に絵本や子育て支援情報、また、よだれかけやコットン等を袋に入れてプレゼントしている。私は、7年前からブックスタート事業を推進し、一般質問でも取り上げ今回3回目となるが、大切な子供達への支援の一環として、本市でも早急に実施をすべきではないか。

● **教育長** 近年、幼児虐待や育児放棄など親子の絆が崩壊するような事件が報道されて、社会問題となっていることを思いやったとき、ブックスタート事業というのは効果があつたのではないかと考え、図書館や保健センターの協力を得ながら取り組みたいと思つている。

● **市長** 私も、人間形成において幼児期の教育は非常に重要であると考えている。新生児の脳の1日の成長は、大人の10年分に相当すると言われており、乳幼児健診時に絵本を手渡し、読み聞かせを進める運動であるブックスタート事業は、子供達の思考力、表現力、言

語能力や豊かな創造性を育むことに非常に効果的な事業であると認識している。是非、23年度に実施したいと考えている。

☆ (掲載以外の質問事項)  
介護保険制度を活用した介護ボランティア支援事業について

## 平成23年度予算編成とマニフェストについて

横張 光男 議員

● **横張議員** 市長は、骨格予算である22年度予算を引継ぎスタートされた。このことから23年度予算編成が新市長の初めての予算

で、市民の皆さんは、大きな関心と期待を持って注目している予算である。しかし、財政状況は大変厳しく、当市の財政は極めて硬直化している。特に自主財源が20年と21年の決算では5億円も減少し、経常収支比率も98・4%と大変高くなっている。この数値が高いと市民に直結した各事業が実施困難である。従って市長の市民に約束したマニフェストの実現も大変困難な訳である。このマニフェストの実現を容易にするためには、自主財源、特に経常的収入の確保と行政評価制度の一層の強化を図り、歳出の徹底した見直しを図ることであるが、市長は23年度予算編成にどう取り組み、その中でマニフェストをどう実現されていくのか、その決意の程をお伺いする。

● **市長** 平成21年度決算を見ると、自主財源が減少し、年々国費等への財源に依存する傾向が顕著になり、補助を受けなくては事業が出来ない状況になってきている。一方、23年度の歳入を推測する

と、市税は今年度とほぼ同額と考えている。この様な状況の中で、私のマニフェストの実現には、財源の確保が最大の課題になってくるものであるが、今後は、マニフェスト・政策全般を再度精査し、すぐ出来るもの、又は中長期にわたって実施するもの等のそれぞれのマニフェストプログラムを作成し、出来ることから、こつこつと確実に政策の実現に向けて鋭意努力して参る所存である。

## 討論

認定第1号 平成21年度つくばみらい市一般会計決算認定について  
\*川上議員から反対討論がありました。

認定第2号 平成21年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算認定について

\*古川議員から反対討論がありました。





## 平成 23 年度予算編成に対する要望

10月13日、つくばみらい市議会は片庭市長に来年度予算編成・施策について、以下の要望を行いました。なお、この要望書は、各常任委員会ごとに作成したものです。

### 【予算要望の内容】

#### (総務常任委員会)

1. 市民サービスの向上
2. 市民協働のまちづくりの推進
3. 効率的な行財政改革の推進
4. 災害に強いまちづくりの推進
5. ワークステーション江戸周辺における地域振興の推進

#### (教育民生常任委員会)

1. 総合運動公園の整備促進
2. 青少年の健全育成対策の強化
3. 福祉施策及び介護保険制度の充実
4. 保育内容の充実
5. 児童クラブの拡充
6. 教育環境の整備
7. 図書館の充実



市長へ要望書を提出

#### (経常常任委員会)

1. 生活排水処理施設（公共下水道、農業集落排水等）の普及対策の強化と加入促進
2. 農家が意欲を持てる農業施策の推進
3. 市内産農産物の生産・販路拡大
4. 中小商工業者への振興支援
5. 県道高岡藤代線延伸線をはじめとする広域道路及び生活道路の整備促進
6. TX 事業及び丘陵部の地域活性化の促進
7. 交通安全対策の推進と施設の整備

### ◆ インターネット 録画中継配信

つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、インターネットのホームページより録画中継の配信を行っています。この事業は、市の重要な課題は何かを多くの市民に知っていただき、情報の公開と共有を図ることを目的としています。なお、それぞれの映像の掲載期間は1年となります。編集にはフリーソフトを活用し、経費をかけずに作業を行っています。どうぞ、ご覧ください。

### 音声による議会だより

議会だより第8号から市のインターネットホームページ上で、音声による議会だよりを始めました。音声は、ボランティア団体である「朗読グループかたくり」の方々によるもので、活動は、声の広報としてつくばみらい市の「広報つくばみらい」議会だより・「社協だより」などの音声訳を行っており、社会福祉協議会を窓口にも目の不自由な方々を対象に、無料でカセットテープの貸し出しをしています。音声による議会だよりは、お借りしたテープをデジタル変換して作成しています。ぜひ、お聴きください。

### ◆ 会議録の公開 ◆ について ◆

本会議の会議録は、インターネットのホームページや市立図書館及び議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から3カ月後となります。



# 小中学生のみなさんが議会を見学!!

市立豊小学校（大好校長）6年生、板橋小学校（福田校長）6年生のみなさんが、議会の一般質問を傍聴しました。

感想文をお寄せ頂きましたので、その一部をご紹介します。

なお、市議会では、21世紀を担う子供達に小中学生の時代から議会に興味を持っていただき、市民にとってより一層身近で親しみやすい議会を目指す取り組みを平成20年度より開始し、市内小中学校単位での本会議傍聴を促進しています。

## 豊小 6年1組 わたなべ 渡辺 たいが 大雅 さん 市議会を見学して

市議会は、うつ病や児童ぎゃくたいのような、今社会で行っている出来事を話し合っていた。また、一人一人の意見が長くしっかりとまとまっていて、すごいなと思った。市長さんを始めとして、市のためにたくさんの人たちが働いていることなども分かりよかった。市議会議員の中には、知っている人や、会ったことのある人もいました。とても緊張してしまい、どうすればいいかよく分からなくなりそうになったけど、市議会議員さんたちがあいさつをしてくれたり、声をかけてくださったので、とても気が楽になりました。また、市議会の傍聴をしたいです。



豊小学校6年1組のみなさん

## 板橋小学校6年1組のみなさん



## 板橋小 6年1組 みやもと 宮本 りょう 亮 さん 市議会を見学して

ぼくが、市議会を見学して思ったことは、市のために話し合ってくれていてすごいなと思いました。ぼくは、そういう市議会を見ていて、ふつうの人ではやらないようなことを市を代ひようして、意見を出してくれたりしてとてもたのもしそんざいだなと感じました。話し合いについては、とてもみぢかなことが話されていたのでびっくりしました。だからぼくは、みぢかなことから話し合いをして、みんなが不満に思っていることを解決しながら、この市を変えていってほしいと思います。最後に、議員さん、議長さん、そして、いろいろな会のみなさんには、いつまでもがんばってほしいです。



板橋小 6年2組 おおもと ゆうか 大本 結花 さん  
市議会を見学して

私達は、9月3日に見学しました。バスから降りて、建物の中に入ったとき、すごく特別な空気感を感じました。かいだんを上るのも、ドキドキしました。市議会を見学しているときは、話の内容がむずかしすぎて、分かりませんでした。でも、ひとつだけ分かったことがあります。それは、市長さんをはじめ、議会に出席している人達は、私達、市民のことを考えて、一生けんめいにやってくれていることです。問題がたくさんある中で、ひとつひとつに正面から向きあっていてすごいと思いました。私は、これからつくばみらい市で生活していくのにあたって、市長さんや議員さんたちに感謝していきたいです。



板橋小学校6年2組のみなさん

板橋小学校6年3組のみなさん



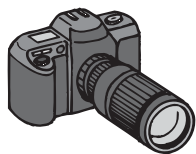
板橋小 6年3組 いしはら あいか 石原 愛花 さん  
市議会を見学して

市議会は、クラスの学級会とはひとあじちがいました。市議会の会議は、ほんかく的で、静かで、横から議長に話をかけてくる人もいませんでした。みんな自分の意見を持っていて、その意見をみんなに伝えて、そして、このつくばみらい市がよくできていくんだなと思いました。でも、つくばみらい市に住んでいる市民も、まだ不べんなこともあると思います。でも、市民が不べんだと思っていることを見つけるのも議会の仕事だと、今日の市議会を見て思いました。今日の市議会を見て、いつでも自分の意見を持って、その意見をみんなに伝えるということを学んだと思います。今日、学んだことを、今後にかきたいです。





あなたの写真を議会だよりに掲載しませんか？  
詳しくは、議会事務局にお問い合わせ下さい。



**掲載写真募集!**

## ≡ 議会TV放映中 ≡



議会開会中、伊奈庁舎及び谷和原庁舎のロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。



## 市議会を傍聴しませんか!!

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

### ◎傍聴の手続き

傍聴は、先着順で傍聴券に住所、氏名、年齢をご記入していただくだけで、傍聴席（定員 50 人）に入場できます。なお、常任委員会等の傍聴席は、定員 5 人となっています。

### ◎傍聴場所

つくばみらい市の議会は、谷和原庁舎 3 階です。

### ◎第 3 回定例会傍聴者数

191 人  
(内小中学生 118 人)

### ◎第 2 回臨時会傍聴者数

1 人

## 会期日程のお知らせ

平成 22 年第 4 回定例会は、次のとおり開催される予定です。

月 日	曜日	会議	内 容
12月1日	水	本 会 議	開会、一般質問
12月2日	木		一般質問、議案の委員会付託
12月3日	金	常任委員会	総務常任委員会
12月6日	月		教育民生常任委員会
12月7日	火		経済常任委員会
12月9日	木	本 会 議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

※日程等については変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の 7 日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせ下さい。

## 編▼集▼後▼記

7 月下旬からの高温は 9 月まで続き、その間、毎日のように高齢者の熱中症による救急搬送が報道されておりました。また、1 カ月半近く雨が降らなかったために、野菜や草花も枯れてしまい、中には植木までその被害にあいました。

そんな暑い最中、9 月議会は、9 月 2 日から始まり、決算審議を含めて 9 月 17 日に終了しましたが、期間中にインターネットで議会の録画中継をご覧になった一人の市民から連絡を頂きました。その方は、車椅子のために議会に足を運べないので、パソコンで議会の様子を見て連絡を下されたのです。私は、改めて身の引き締まる思いがしました。一人一人の市民のために、私達は真剣に議会を更に活性化しなければなりません。次の言葉を改めてかみ締めました。

「万人は一人のために、一人は万人のために」

議会広報特別委員会

委員 海老原 弘

## ◎ご意見ご感想をお寄せください◎

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。

〒300-2492 つくばみらい市加藤 237 番地 つくばみらい市役所 議会事務局まで  
☎ 58-2111 FAX20-5760 Eメール gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp